



▲4月26日に生まれた男のコで

毎年この春の時期に、能勢農場は総会を呼び掛けている。今年も4月の第3週(15日)と少し遅い開催となり、当日はあいにくの雨にもかかわらず

未来・展望を語り合う場になるよう

4/15 能勢農場 第41期定時株主総会

設立当初より続けてきた岐阜県への配達を、2018年1月に終了しました。結果的に人手不足からくる配達の撤

共に働く・協同する関係に向けて

4/7 近江産直センター 第13期定時社員総会



総会では、職場の人間関係やよつ葉の配達センターの内



▲井上さん

から丁寧なご意見、ご忠告をいただいた次第です。今回は大きな動きがあったということもあり遠方からも出席者がある中、討議する中で産直センターの内外を問わず、共に

ず60人ほどの株主が来場してくれました。能勢農場が担う畜産は、この10年で時代の変遷に伴い、哺育からの一貫生産から飼料の自主生産、放牧、繁殖の試験事業、瀬戸田農場との事業統合などに取り組み、変革を進めてきました。今期もこうした事業をより安定させていくための事業計画を提案しましたが、株主からは事業の発展以上に、これからの能勢農場のあり様に議論が集中し、「人が集い、交流の場としての役割も、もっと意識して担っていくべき」、「人が集まる場として、例えば学習会や講演会を能勢農場で呼び掛け、主催するなどあってよいのでは」など、農場憲章という開かれた農場作りも、このグルー

プに能勢農場を建設した上で大切な意味があるとの意見が出されました。たしかに今の能勢農場は事業規模も大きくなり、時代の流れの中で畜産に対する技術や知見が要求され、事業が農場活動の大半を占めています。日々の現場の中に農場憲章の実践の場という質を落とし込み、農場メンバー全員で議論と共有に努め、外に向け発信していますが、まだまだ足りないという株主の実感から出た意見なのだと感じました。自分たちの事業展望をどう創造するのか、多くの人たちとの関わる仕組み作りを取り組みながら、能勢農場が未来・展望を語り合う場になるよう努めていきたいと思えます。(寺本 陽一郎)

停滞を乗り越える 試みを必死で

4/21 大北食品 第29期総会

働く・協同するということを改めて考えさせられる総会となりました。現在、滋賀県東部・北部だけの配達となつてから2カ月半、総会から3週ほど過ぎようとしています。到着かないまでも少しずつ事業計画の展開が始まり内部も活気付い

てきました。どこの職場でも人のことに正解はなく、試行錯誤があるものですが、働くもの同士が心を通わせられる、またそうしようと思える関係を陽気に作つてゆき、次の総会では良い報告ができるよう気を引き締めてまいりませう。(井上陽志)

4/18 川西産直センターで「ある牛飼いの記録」ミニ上映会



川西産直センター事務所の倉庫にて『原発の町を追われて』避難民・双葉町の記録 第3部 ある牛飼いの記録』のミニ上映会を行いました。昼間空いている倉庫を活用したいとの思いが元でした

が、今後もこのような「大切なこと」を考え伝える活動を、ぜひ続けていきたいと思っております。

3・11の福島第一原発事故、あれから7年。遠く離れたところで生活している私たちは、過去の出来事にしてしまいがちですが、当事者の方たちは「忘れないで」と言っておられます。終わりのない不安のなかでの生活を強いられることを、映像を通じて感じることができれば、少しでも避難されている方々の気持ちに近づけるので

業も前進します。しかし、どんな事業も一直線に伸びていくことなどあり得ません。やがて停滞時期を迎えます。停滞する原因は内部から発生する問題もあれば、外部的な要因・社会の変化に対応できない、といった問題もあります。その停滞を乗り越えることができなければ、そこで終わることになります。

30年目の大北食品も、そのような時期にあるといえます。よつばの事業全体もそのように思います。(鈴木伸明)



▲鈴木さん

ような時期を迎えているものだと考えています。よつばが事業を始めた1970年代は、「低成長に転じた時代」といわれました。モノの動きは鈍くなり始めた時代です。モノが今までのように活発に動かないから、流通部門の「革新」が通信技術の進展に伴ってさまざまいい勢いで始まった、と言うことができます。その方向も今ではピークとなっているように思われます。それを示唆する現象を日々目にします。

●●● 《共同利用・相互協力をつよめよう》 ●●● 《買う人が売る人に、売る人が買う人に》 ●●● 《販売ルートの相互紹介で事業の拡大を》 ●●●

脱原発・脱成長

関西よつ葉連絡会

(株)よつ葉ホームデリバリー京滋

＜配達エリア＞ 京都府南部 滋賀県南部・西部

京都府久世郡久御山町市田石橋3
(0120) 50-8170 FAX (0774) 28-0319

原発に頼らない社会を！

3.11を忘れるな！

原発は今すぐ廃炉へ！

(株)産地直送センター

箕面市西宿2-15-6 ☎ (072) 727-7780

核のない世界をつくらう！

(株)よつ葉ホームデリバリー京都南

〒617-0836
京都府長岡京市勝竜寺14-25
☎ (075) 958-6688 FAX (075) 953-7570